

病理検査学総論

General Overview of Pathological Examination

薬：L1-53411MY、生命：L1-45411MS

医療科目 4年／前期 1.5単位 自由選択科目

科目責任者 臨床検査技師教育委員長

■教育目的

臨床検査技師を目指すにあたり、広く臨床検査を習得することが必須である。また、病理検査学に加え関連する基礎的知識が必須である。本講義では、これまでに受けてきた臨床検査各領域の授業を踏まえて、病理検査に関連する領域の知識、技術を縦断的に学習することを目的とする。また、国試対策についても効果的な対策について学習する。

■学習到達目標

≪一般目標 (GIO) ≫

1. 病理検査学と関連する生化学および臨床化学を縦断的に復習することにより、これまでに学習した内容を補完するとともに、より総合的な知識・技術を理解できるようになる「知識、技能」

≪個別目標 (SBOs) ≫

1. 解剖生理に関する復習を行い、病理検査学や画像診断検査、医学総論と連携して説明できる「知識、技能」
2. 病理検査および臨床化学検査の各項目を、各種疾患と関連させて説明できる「知識、技能」
3. 本格的な臨床検査技師国家試験対策を控えているなかで、国家試験合格のための勉強方法などを実施する。

■準備学習（予習・復習）

予習：教科書に目を通しておくこと（20分）。事前課題に回答した状態で授業を視聴すること（30分）

復習：授業後課題に回答すること（30分）。過去の臨床検査技師国家試験の当該領域に目を通し理解しておくこと（10分）。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	病理と臨床化学(1)分析法の基礎	病理検査と関連する臨床化学検査のうち、分析法の基礎を学ぶ。	E1-(2)-②- 6
2	病理と臨床化学(2)電解質・微量金属	病理検査と関連する臨床化学検査のうち、電解質と微量金属について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
3	病理と臨床化学(3)糖質	病理検査と関連する臨床化学検査のうち、糖質について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
4	病理と臨床化学(4)脂質	病理検査と関連する臨床化学検査のうち、脂質について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
5	病理と臨床化学(5)タンパク質・窒素化合物	病理検査と関連する臨床化学検査のうち、タンパク質と窒素化合物について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
6	病理と臨床化学(6)酵素活性	病理検査と関連する臨床化学検査のうち、酵素活性について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
7	病理と臨床化学(7)ホルモン・ビタミン	病理検査と関連する臨床化学検査のうち、ホルモンとビタミンについて学ぶ。	E1-(2)-②- 6
8	病理と臨床化学(8)計算問題	病理検査と関連する臨床化学検査のうち、計算問題について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
9	病理検査学(1)解剖・組織学	病理検査と関連する解剖・組織学について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
10	病理検査学(2)病理学総論	病理検査と関連する病理学総論を学ぶ。	E1-(2)-②- 6
11	病理検査学(3)組織標本作製法	病理検査と関連する組織標本作製法について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
12	病理検査学(4)一般染色・特殊染色	病理検査と関連する一般染色・特殊染色について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
13	病理検査学(5)免疫組織化学染色・遺伝子の染色	病理検査と関連する免疫組織化学染色・遺伝子の染色について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
14	病理検査学(6)電子顕微鏡標本作製法・病理解剖・病理学的検査業務の管理	病理検査と関連する電子顕微鏡標本作製法・病理解剖・病理学的検査業務の管理について学ぶ。	E1-(2)-②- 6
15	病理検査学(7)細胞診	病理検査と関連する細胞診について学ぶ。	E1-(2)-②- 6

■授業分担者

岡田光貴(非常勤講師)(No.1~8)、大西崇文(非常勤講師)(No.9~15)、櫻井進(No.1の一部)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

各コマで提示される課題の成績にて評価する(100%)。

■ 教科書

最新臨床検査学講座 臨床化学検査学 第3版

最新臨床検査学講座 病理学/病理検査学

■ 参考書

自作講義資料等